

第3章 教育及び保育内容

(1) 乳幼児期の発達特性

※幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針より

乳幼児期の発達について、平成29年告示の各要領・指針に照らしながら、各時期の発達の特徴と子どもの姿、子どもの育ちにおいて大切にすることを記載しています。

①乳児期の育ちと学び

乳児期の発達については、視覚、聴覚等の感覚や、座る、這う、歩く等の運動機能が著しく発達し、特定の大人との応答的な関わりを通じて、情緒的な絆が形成されるといった特徴があります。これらの発達の特徴を踏まえて、乳児期の園児の保育は、愛情豊かに、応答的に行われることが必要です。



* 乳児保育のねらい

①身体的発達に関する視点 『健やかに伸び伸びと育つ』	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力の基盤を培う
②社会的発達に関する視点 『身近な人と気持ちが通じ合う』	受容的・応答的な関わりの中で、何かを伝えようとする意欲や身近な大人との信頼関係を育て、人と関わる力の基盤を培う
③精神的発達に関する視点 『身近なものと関わり感性が育つ』	身近な環境に興味や好奇心を持って関わり、感じたことや考えたことを表現する力の基盤を培う

②乳児期から幼児期にかけての育ちと学び(満1歳以上満3歳未満)

この時期においては、歩き始めから、歩く、走る、跳ぶなどへと、基本的な運動機能が次第に発達し、排せつの自立のための身体的機能も整うようになってきます。つまむ、めくるなどの指先の機能も発達し、食事・衣類の着脱なども、周囲の大人の援助の下、自分で行うようになります。発音も明瞭になり、語彙も増加し、自分の意思や欲求を言葉で表出できるようになります。

このように自分でできることが増えてくる時期であることから、園児の生活の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守るとともに、愛情豊かに、応答的に関わる必要があります。



③幼児期の育ちと学び(満3歳児以上)

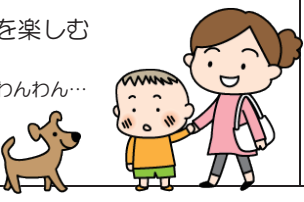
この時期においては、運動機能の発達により、基本的な動作が一通りできるようになるとともに、基本的な生活習慣もほぼ自立できるようになります。理解する語彙数が急激に増加し、知的興味や関心も高まってきます。仲間と遊び、仲間の中の一人という自覚が生じ、集団的な遊びや協同的な活動も見られるようになります。

これらの発達の特徴を踏まえて、この時期の教育及び保育においては、個の成長と集団としての活動の充実が図られるようにしなければなりません。



(2) めざす子ども像で区分する年齢別教育・保育内容一覧表

子どもの育ちを年齢区分で一覧表にしています。発達の特徴や家庭との連携等、詳細はP12～P17に記載しています。

		0歳児	1歳児	2歳児
	大切に すること テーマ	特定の大人との安定した関係を基盤とし、基本的信頼関係を育む 『ごくごく、すやすや、いい気持ち！』	大人との信頼関係をもとに、自分でやってみようとする気持ちを育む 『歩くの大好き！まねっこ大好き！』	自分でできた！の気持ちを受け止め、自信と自立心を育む 『自分で！自分で！』
つながる力	内容	○特定の保育者と愛情豊かに関わり、情緒的に安定した生活をする ○大人から自分に向けられた気持ちを感じ、自分の意思や欲求を声やしぐさで伝えようとする ○規則正しい生活の心地良さを感ずる 	○保育者の言葉がけがわかり、甘えたり、時にはわがままを言ったりしながら、安心して過ごす ○周りの大人や子どもに関心をもち、関わろうとする ○保育者の話しかけを喜び、自分から呼びかけたり言葉を使ったりする ○褒められたり、叱られたりしたことがわかる	○日常の簡単な挨拶をされると、応じようとする ○保育者や友達と言葉のやりとりを楽しみ、自分の思いをしぐさや簡単な言葉で表現する ○保育者の言葉がけにより、良いことや悪いことに少しずつ気付いていく ○簡単な約束を守って遊ぶ
豊かな心	内容	○適切な世話を受けて心地良さを感ずる ○保育者の語りかけや触れ合いを通してやりとりを喜び、声を出したり応えようとしたりする 	○表情や指さし、身振り、喃語、単語等で気持ちを表そうとする ○保育者とのやりとりや友達と一緒にいることを楽しむ ○身近な生き物に関心をもちたり自然の中で遊んだりすることを楽しむ	○生活や遊びを援助してもらいながら、自分でできた喜びを感ずる ○身近な動植物に触れ、興味や好奇心をもつ
健やかな体	内容	○離乳を通して、食べる楽しさを体験する ○清潔にしてもらう心地良さを感ずる ○ゆったりとした雰囲気の中で、自然に触れ、散歩や戸外遊びを楽しむ ○個別・月齢別の発達に合った身体活動を十分に行う	○様々な食べ物に興味をもち、手助けを受けながら、スプーンやフォークを使って楽しく食事をする ○食事、排せつ、着替え等を自分でしようとする気持ちが芽生える ○戸外遊びを楽しみ、体を動かして好きな遊びを十分に楽しむ	○身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身に付くようになる(スプーンの正しい持ち方、手伝ってもらいながらの衣服の着脱、保育者の声掛けのよとの排せつ等) ○体を使った遊びに楽しんで取り組む 
学ぶ力	内容	○聞く、見る、触るなどの五感を通じた体験をする ○保育者の語りかけや触れ合いを通して、音や言葉のフレーズを感じて喜ぶ	○生活や遊びの中で保育者のすることに興味をもち、模倣することを楽しむ ○自分で好きな絵本を選んだり、繰り返し読んでもらったりすることを楽しむ 	○友達や保育者がすることに興味をもち、やってみようとする ○絵本や紙芝居のくり返しのある言葉の模倣を楽しむ わんわんいるね～ おおきいね～

		3歳児	4歳児	5歳児
	大切に すること	自分でできるという 気持ちが育ち、認めら れる経験を通して、 自己肯定感を育む	集団での活動を楽し み、自己主張と他者を 受容する感情を育む	様々なことに積極的 に挑戦し、達成感や 充実感等を味わう
	テーマ	『自分でできる！ 友達大好き！』	『友達と一緒に楽しい！』	『みんなでやるの楽し い！役に立つの嬉しい！』
つながる力	内容	○日常生活の挨拶がわかり、して みようとする ○名前を呼ばれたら返事をする ○集団として一緒に活動すること を喜ぶ ○友達の気持ちをわかろうとする ようになる ○遊びや生活のルールを知り、 守ろうとする	○日常生活に合った挨拶を行う ○ルールのある集団遊びを楽しむ ○友達との繋がりを深め、自分の 考えを伝えたり相手の気持ちに 気付いたりする ○様々な葛藤を通して、自分の気 持ちに折り合いを付け、様々な 活動を試みる経験を積む	○相手の顔を見て、自分から進ん で挨拶を行う ○協力して遊びを進め、自分たち でやり遂げたという達成感や 充実感等を味わう ○友達と一緒に、様々な経験を積 み重ね、遊びや生活に必要なル ールを身に付ける
豊かな心	内容	○自分の居場所がわかり、安心し て過ごす ○自分の気持ちがわかる ○身近な自然や生き物に親しみの 気持ちをもち、触れてみようとする	○感情が豊かになり、生活してい く中で、様々なことや人の気持 ちを自分なりに知ろうとする ○自信をもって、様々な活動に自 分から進んで参加しようとする	○自分の考えや思いをわかるよ うに話すとともに、相手の話も 良く聞き、内容を理解しようとする ○良いことと悪いことがあるこ とに気付き、考えて行動する
健やかな体	内容	○箸を使って自ら食べようとした り、進んで排せつしたりしよう とする ○生活の仕方がわかり、簡単なこ とは自分でしようとする ○簡単なルールのある体を動かす 遊びを楽しみ、 できることが 増える喜びを 味わう 	○友達と一緒に楽しく食事をしな がら、食事のマナーを知り、守 ろうとする ○自分のことは自分でしようとする ○戸外で全身を動かし、友達と一 緒にルールを守って遊ぶ楽しさ を味わう	○食事のマナーを理解し、自ら 進んで食べたり苦手な食べ物 にも挑戦したりしようとする ○健康な生活に必要な基本的生 活習慣や態度を身に付ける ○様々な遊具や用具を使い、多様 な動きが獲得できるような運 動遊びや集団遊びを楽しむ
学ぶ力	内容	○遊びを通して、様々なものへの 興味や関心を広げ、自分なりに 表現しようとする ○保育者や友達に自分の経験した ことや思いを話そうとしたり、 人の話を聞こうとしたりする ○絵本や紙芝居の読み聞かせを楽 しむ ○自分の興味がある遊びを見つけ て集中して取り組む ○友達と一緒に、簡単なごっこ遊 び・なりきり遊びを楽しむ	○身近な事物や事象に親しむ中 で、数・量・形等への関心を 深める ○相手の話を注意して聞き、感じ たことを自分なりの言葉で話す ○言葉遊びを楽しみ、日常生活や 絵本等を通し、文字に興味を もつ ○友達と一緒に遊びに必要な物を 作ったり遊びを広げたりする	○数、量、図形等への興味や関心 を深め、取り入れて遊ぶ ○自分の名前や文字等に興味を もち、読んでみたり書いてみ たりしようとする ○時間の区切りがあることを知 り、時計の数字を見たり数を数 えてみたりする ○共通の目的に向かい、友達と考 えたり工夫したりして遊びを 展開する

(3) めざす子ども像で区分する年齢別教育及び保育内容詳細

子どもの育ちに関して、それぞれの年齢区分での関わり方や大切にすること等を、前手引きの記述を一部修正し、まとめています。子どもの育ちには大きな個人差があり、特に0歳児等乳児は、月齢によってできることや発達状況が大きく異なります。表の年齢と内容は、各年齢の育ちの基準ではなく、個々の育ちの過程として捉え、連続性のあるものとして一人ひとりの子どもの発達を読み取る必要があります。

【0歳児】 特定の大人との安定した関係を基盤とし、基本的信頼関係を育む		
発達の特徴・子どもの姿	特定の大人との間に信頼関係を作りながら、自分の欲求を表現し、受容される心地良さを味わい、生活のリズムを形成する。運動機能の発達とともに探索行動が現れ始め、周囲の環境に興味をもって関わっていきこうとする。言葉の基礎が芽生え、離乳が始まる。	
	内容	保育者の援助・配慮等
つながる力	○特定の保育者と愛情豊かに関わり、情緒的に安定した生活をする ○自分の意思や欲求を声やしぐさで伝えようとする ○大人から自分に向けられた気持ちを感じる ○笑いかけられると笑う等する ○規則正しい生活の心地良さをを感じる	○一人ひとりの発達状況を把握しながら保育を進めていく ○1対1のゆったりした関係を構築する ○ゆったりと抱っこし、優しく言葉がけをする ○特定の保育者を基盤として、保護者や肉親等以外の、初めての第三者との信頼関係を構築する
豊かな心	○適切な世話を受けて心地良さをを感じる ○保育者の語りかけや触れ合いを通してやりとりを喜び、声を出したり応えようとしたりする ○身近な人や身の回りのものに興味や関心をもつ ○身近な自然に触れる	○表情、身振り、発声や喃語に、的確にタイミングよく情感を込めて応える ○スキンシップややさしい語りかけ等を通して心を通わせ、信頼関係を築いていく
健やかな体	○離乳を通して食べる楽しさを体験する ○清潔にしてもらう心地良さをを感じる ○ゆったりとした雰囲気の中で、自然に触れ、散歩や戸外遊びを楽しむ ○個別・月齢別の発達に合った身体活動を十分に行う	○家庭と連携をとりながら、一人ひとりの子どもの心身の状態を把握する ○一人ひとりの子どもの生理的リズムに沿って、食欲、睡眠、排せつ等の欲求を満たす ○身体活動の中で子どもとのスキンシップを取るよう心がける
学ぶ力	○聞く、見る、触るなどの五感を通じた体験をする ○保育者の語りかけや触れ合いを通して、音や言葉のフレーズを感じて喜ぶ ○一人遊びや戸外遊びを十分に楽しむ	○五感に働きかける安全なおもちゃや遊具を整え、保育者も一緒に遊ぶ ○室内環境を整え、一人ひとりが好きな遊びを十分に楽しめるよう配慮する ○ゆったりとした言葉がけを心がける
家庭との連携	○保護者の気持ちを受け止め、気軽に子育ての相談ができるようにする ○親子の触れ合いが豊かになるよう、楽しめる遊びやコミュニケーションの取り方を伝えていく ○子どもの発達状態に応じ、段階的に離乳を進めていくようにする ○子どもの健康状態の把握に特に留意し、安定した生活リズムで園でも家庭でも過ごせるよう、保護者の気持ちに寄り添いながら、生活リズムの構築に向けて啓発していく	



【1歳児】 大人との信頼関係をもとに、自分でやってみようとする気持ちを育む		
発達の特徴・子どもの姿	歩き始め、手を使い、言葉を話すようになる。周囲の人や物に興味をもって、自分でしようとする気持ちが芽生え、手助けを受けながら、必要な生活習慣を少しずつ身に付けていく。できたことを認めてもらうことで自分への肯定感をもつようになる。自分の欲求を行動や言葉で表現しようとし、思いを強く主張する姿もみられる。	
	内容	保育者の援助・配慮等
つながる力	○保育者に甘えたり、時にはわがままを言ったりしながら、安心して過ごす ○周りの大人や子どもに関心を持ち、関わろうとする ○保育者の話しかけを喜び、自分から呼びかけたり言葉を使ったりする ○褒められたり、叱られたりしたことがわかる ○保育者の言葉がけの意味がわかり行動しようとする	○保育者等への甘えや依存の欲求を満たしながら、信頼関係を深めていく ○子どもの言葉や動作で表現する欲求を十分受け止める ○1対1の関係を大切にしながら、クラス全体の保育者で全員の子どもの発達状況等について共有する機会を設けるようにする
豊かな心	○表情や指さし、身振り、喃語、単語等で、自分の気持ちを表そうとする ○保育者とのやりとりを楽しみ、保育者や友達と一緒にいることを楽しむ ○身近な生き物に関心をもったり、自然の中で遊んだりすることを楽しむ	○保育者とのふれあいをゆったりと豊かにもつ ○一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、信頼関係を築いていく ○身近な動植物や自然を保育者も一緒に見たり、触ったり、子どもへ言葉がけをしたりする
健やかな体	○様々な食べ物に興味を持ち、手助けを受けながら、スプーンやフォークを使って楽しく食事をする ○食事、排せつ、着替え等を自分でしようとする気持ちが芽生え、生活習慣を少しずつ身に付ける ○戸外遊びを楽しみ、体を動かして好きな遊びを十分に楽しむ ○手指を動かして、簡単な手遊び等を楽しむ	○好き嫌いや食欲に個人差が出てくるため、一人ひとりに合った食事への配慮や援助を心がける ○家庭との連携を取り、生活習慣の大切さを知らせる ○一人ひとりの排せつのリズムを把握し、トイレやおまるでの排せつに慣れるようにする
学ぶ力	○生活や遊びの中で保育者のすることに興味を持ち、模倣することを楽しむ ○保育者の話しかけを喜び、自分から呼びかけたり言葉を使ったりすることを楽しむ ○自分で好きな絵本を選んだり、繰り返し読んでもらったりすることを楽しむ ○保育者と一緒に歌や手遊びを楽しみ、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ	○物の出し入れや操作等の動作が入った遊びを取り入れる等、個々の状態に合ったおもちゃや遊具を工夫し、自分なりに考えて遊べる環境を整える ○一緒に見たり経験したりしたことを、簡単な言葉で伝え、共感できるようにする
家庭との連携	○保護者の気持ちを受け止め、気軽に子育ての相談ができるようにする ○園や家庭で様々な体験をすることの大切さを知らせていく ○トイレやおまるで排せつをする機会を共につくっていくよう伝える	



【2歳児】自分でできた！の気持ちを受け止め、自信と自立心を育む

発達の特徴・子どもの姿	運動機能や指先の発達に伴い、身の回りのことを自分でしようとして基本的な生活習慣を少しずつ身に付けていく。生活や遊びの中で行動範囲を広げ、探索意欲が増し、自己主張が強くなる。まねっこ遊びやごっこ遊びも楽しむようになる。	
つながる力	内容 ○日常の簡単な挨拶をされると、応じようとする ○言葉のやりとりを楽しみ、したいことやしてほしいことを身振り手振りや簡単な言葉で表現する ○保育者の言葉がけにより、良いことや悪いことに少しずつ気付いていく	保育者の援助・配慮等 ○保育者が親しみをもって挨拶をし、自分から挨拶をする喜びを感じ取れるようにする ○保育者の仲立ちにより、遊具を共有して遊ぶ ○子ども同士のぶつかり合いが多くなるが、子どもの気持ちを大切に、見守りながら援助するよう心がける
豊かな心	○自己主張が強くなり、自分の気持ちを表現する ○生活や遊びを、援助してもらいながら、自分でできた喜びを感じる ○身近な動植物に触れ、興味や好奇心をもつ	○一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、共感しながら信頼関係を築いていく ○自分でしようとする気持ちを認め、励まし、自立を促すことができる適切な環境を整える
健やかな体	○身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身に付くようになる ○楽しい雰囲気の中で、スプーンの正しい持ち方を知り、食事をする ○手伝ってもらいながら、自分で衣服の着脱を行う ○保育者の声かけ等で、排せつをトイレで行う ○体を使った遊びに楽しんで取り組む	○服の着脱の仕方を一人ひとり丁寧に伝え、手伝ってもらいながらも自分でしようとする姿を認める ○危険な場所や危ないことに対しわかるように伝え、安全にも十分配慮する ○楽しみながら体を動かせる遊びを、日々の生活の中へ意識的に取り入れていく
学ぶ力	○友達や保育者がすることに興味をもち、やってみようとする ○生活や遊びの中で、物の形や色、自然物に興味や関心をもつ ○言葉のやりとりを楽しみ、欲求を身振りや簡単な言葉で表現する ○絵本や紙芝居の繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ ○保育者と一緒に簡単な見立て遊びやつもり遊びを楽しむ	○絵本の読み聞かせをしたり、子どものしたことをお話にしたりして、言葉に対する興味をもてるようにする ○見立て遊び・つもり遊びのイメージを共有し、その中に入って保育者も一緒に遊ぶ ○子どもが話しかけてきた時は、その話を丁寧に聞き、会話が繋がっていくよう共感したり質問したりして、子どもがより一層言葉を知り、それを使う機会となるよう留意する
家庭との連携	○自己主張を大事にしながらも、場合によっては思いが受け入れられない時があることを、園でも家庭でも丁寧に知らせていき、協力して進めていく ○基本的生活習慣の確立に向けて、子どもの状態を共有しながら、共に進めていく ○見立て遊びやつもり遊びを、家庭でも一緒に楽しんでもらえるよう、園での様子を機会を捉えて伝える	



【3歳児】

自分でできるという気持ちが育ち、認められる経験を通して、自己肯定感を育む

発達の特徴・子どもの姿	必要な生活習慣を身に付け、自分で次の活動への見通しや思い、期待を持って生活しようとする。盛んに質問をする等、知的な興味や関心を広げていく。運動能力が発達してきて、様々な動きができるようになってくる。 	
	内容	保育者の援助・配慮等
つながる力	○日常生活の挨拶がわかり、してみようとする ○名前を呼ばれたら返事をする ○集団として一緒に活動することを喜び ○自分より年齢の高い幼児に憧れの気持ちをもつ ○友達の気持ちをわかろうとする ○遊びや生活のルールを知り、守ろうとする	○挨拶や返事は、大人が手本となったり、出来たときは褒めたり認めたりして、気持ち良く相手とコミュニケーションが取れる方法を知らせる ○楽しく遊べる集団遊びを通して、保育者や友達との繋がりを感じられるようにする
豊かな心	○自分の居場所がわかり、安心して過ごす ○自分の気持ちがわかる ○身近な自然や生き物に親しみの気持ちをもち、触れてみようとする ○お気に入りの本を何度も読んだり絵本の読み聞かせや自分で手に取って見ることを楽しんだりする	○保育者や友達と親しみ、安心して過ごせるような環境設定に留意する ○絵本は、乳児・幼児どちらの本も読み聞かせを行ったり、お気に入りの本を何度も読んだりする等、個々の感じ取りや思いを大切にする ○子どもの発見や驚き、感動を大切に受け止め、共感する
健やかな体	○楽しい雰囲気の中で、箸を使って自ら食べようとする ○自分から進んで排せつをしようとする ○生活の仕方がわかり、簡単な身の回りのことは自分でしようとする ○簡単なルールのある体を動かす遊びを楽しみ、できることが増える喜びを味わう	○食事に興味もてる話をしたり、「おいしいね」等言葉をかけたりして、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにする ○自分のことは自分でしようという気持ちを大切にしながら見守り、必要に応じて手助けを行う ○活動的に楽しめる環境を整える
学ぶ力	○遊びを通して、様々なものへの興味や関心を広げ、自分なりに表現しようとする ○保育者や友達に、自分の経験したことや思いを話そうとしたり、人の話を聞こうとしたりする ○自分の興味がある遊びを見つけ、集中して取り組む ○友達と一緒に、自分たちで簡単なごっこ遊び・なりきり遊び等を楽しむ	○子どもの伝えようとする気持ちを大切に受け止め、人の話を聞く大切さも伝えていく ○保育者が一緒に遊びに加わり、遊具の使い方を見せたり子どもの発想を認めたりする ○自己肯定感が高まるよう、子どもの言葉や行動を見逃さず、共感し認めるようにする
家庭との連携	○自分でしようとする気持ちを大切にしながら、共に見守っていくよう働きかける ○子どもの話したいことを十分聞いてあげるように伝えていく ○箸の使い方を知らせ、家庭でも使ってみるように促していく	

箸を使って食事



簡単なルールを聞いて運動



【4歳児】集団での活動を楽しみ、自己主張と他者を受容する感情を育む

発達の特徴・子どもの姿	全身のバランスが取れ、想像力が豊かになる。自分でできることに喜びをもつとともに、自他の比較や自分の行動の予測等から不安や葛藤が生じるようになる。仲間としての繋がりが強くなり、一緒に遊びながら互いに主張し合い、相手の気持ちに気付き、自分の気持ちを抑えようとする等、関わりを深めていく。 	
	内容	保育者の援助・配慮等
つながる力	○日常生活に合った挨拶を行う ○ルールのある集団遊びを楽しむ ○友達との繋がりを深め、相手に自分の考えを伝えたり相手の気持ちに気付いたりする ○様々な葛藤を通して、自分の気持ちに折り合いを付け、様々な活動を試みる経験を積む ○安全に生活するためのルールを知る	○友達との関わりの中で、一人ひとりの考えや頑張りを互いに認め合えるよう見守り、側面から援助していく ○遊びに必要なルールや言葉等を、わかりやすく、継続し、定着するまで伝える ○生活に必要なルールを、視覚的表示等を使いわかりやすく伝える環境設定を行う
豊かな心	○感情が豊かになり、生活していく中で、様々なことや人の気持ちを自分なりに知ろうとする ○自信をもって、様々な活動に自分から進んで参加しようとする ○身近な動植物や自然事象等に親しみ、それらに関心や愛情をもち、命の大切さに気付く	○自然に触れ、季節を感じられるよう、園内の環境を工夫したり、園外へ出かけたりする機会を多く設定するよう心がける ○様々な新しい感動体験に出会えるような機会がもてるよう、日々の環境設定・出会わせ方を考える
健やかな体	○友達と一緒に楽しく食事をしながら、食事のマナーを知り、守ろうとする ○自分のことは自分でしようとする ○戸外で全身を動かし、友達と一緒にルールを守って遊ぶ楽しさを味わう	○菜園活動等を通して、食べ物大切さに気付かせる ○自分のことは自分で！という自信や満足感を味わえるよう援助する ○様々な遊具や用具を使い、多様な動きが獲得できるような運動遊びや集団遊びを楽しむ
学ぶ力	○身近な事物や事象に親しむ中で、数・量・形等への関心を深める ○相手の話を注意して聞き、感じたことを自分なりの言葉で話す ○言葉遊びを楽しみ、日常生活や絵本等を通し、文字に興味をもつ ○友達と一緒に遊びに必要な物を作ったり、遊びを広げたりして、工夫して遊ぶことを楽しむ	○生活の中で広がる子どもの質問に、一緒に考えたり調べたりしながら、興味や関心を深められるようにする ○感じたこと、想像したこと等を自分なりに工夫し、様々な方法で表現しようとする姿を認めていく ○様々な素材や用具を使い、子ども自身が考えたり工夫したりできる環境を整える
家庭との連携	○子どもが試行錯誤する様子を温かく見守り、できることは自分の力で進められるよう共に進めて行く ○運動の大切さを知らせ、家庭で機会を捉え、体を動かす活動を取り入れてもらうよう伝える	

年長さんが作ったピザとメニュー表でレストランごっこ



みんなでコマ回し



【5歳児】様々なことに積極的に挑戦し、達成感や充実感等を味わう

発達の特徴・子どもの姿	基本的生活習慣や態度が身に付いてくる。生活や遊びの中で、目標に向かって友達と力を合わせて活動すると共に、役割意識をもって取り組み、達成感や充実感等を味わう。仲間の一人としての自覚と自信をもち、互いに認め合う力を身に付けていく。	
	内容	保育者の援助・配慮等
つながる力	○相手の顔を見て、自分から進んで挨拶を行う ○協力して遊びを進め、自分たちでやり遂げたという達成感や充実感等を味わう ○友達と一緒に、様々な経験を積み重ね、遊びや生活に必要なルールを身に付ける ○自分たちでルールを作ったり、遊び方を考えたりして楽しむ	○集団で取り組む活動の機会を多くもち、達成感や充実感等を味わえるようにする ○互いに思いを伝える中で、折り合いをつけて遊べるよう時には仲立ちをする ○小さい子の世話をしたり一緒に遊んだりする機会を取り入れ、いたわりの気持ちや責任感が育つようにする
豊かな心	○自分の考えや思いをわかるように話すとともに、相手の話も良く聞き、内容を理解しようとする ○当番活動等を通して、人の役に立つ喜びを味わう ○自然の変化や美しさなどを感じたり、関心をもったりする ○動植物に親しみ、命の大切さに気付く ○良いことと悪いことがあることに気付き、自分なりに考えて行動する	○年長児になった喜びに共感し、進んで活動しようとする意欲を受け止める ○就学への期待がもてるよう、学校訪問をしたり児童と交流したりする機会をもつ ○子どもと一緒に、動植物に触れたり世話をしたりする中で、命の大切さを感じ、愛情をもって関われるようにする
健やかな体	○食事のマナーを理解し、自ら進んで食べたり苦手な食べ物にも挑戦しようとする ○健康な生活に必要な基本的生活習慣や態度を身に付け、見通しを持って生活する ○様々な遊具や用具を使い、多様な動きが獲得できるような運動遊びや集団遊びを楽しむ ○自分たちでルールを作って遊ぶ	○菜園活動等、食に関する活動を取り入れ、食べ物の役割や大切さに関心をもてるようにする ○健康な生活等、必要な習慣や態度の習得を確認し、自ら取り組める環境を整える ○一人ひとりの力を把握しながら、体を動かすことが楽しくなる工夫を行う
学ぶ力	○身近な事物や事象に積極的に関わり、その性質や、数・量・図形等への関心を深め、取り入れて遊ぶ ○絵本や童話、素話、お話づくり等を通して、友達と一緒にイメージを共有し表現する ○自分の名前や文字等に興味をもち、読んでみたり書いてみたり、取り入れて遊んだりする ○時間の区切りがあることを知り、時計の数字を見たり数を数えてみたりする ○共通の目的に向かい、友達と考えたり工夫したりして、遊びを展開する	○生活の中で広がる子どもの疑問や関心等に応じて、聞いたり調べたりできる環境を整える ○日々の生活や活動の中で、文字や数字、時間等にふれる機会を設定するとともに、視覚的な環境設定も行い、遊びの中から総合的に小学校以降の学びに繋がるよう留意する ○個々の興味や友達関係を把握し、試行錯誤したり葛藤したりする姿を受け止めていく ○生活の流れや時間の区切りを意識できるような環境を整え、保育の中に取り入れていく
家庭との連携	○基本的生活習慣の確立や、文字や数への興味や関心を引き出す等、小学校へ円滑に繋げていけるように、共に取り組むことの大切さを知らせていく ○身の回りの整理整頓や片付け等、自分でできることはなるべく自分できるように、園と家庭で共に進めていくよう伝えていく	

文字を使って
カルタづくり

雪って
不思議・・・
面白いなあ～